

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-297429 (P2003-297429A)  
【公開日】平成 15 年 10 月 17 日 (2003.10.17)  
【出願番号】特願 2002-94660 (P2002-94660)  
【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 10/40

H 0 1 M 2/16

【F I】

H 0 1 M 10/40 Z

H 0 1 M 2/16 P

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正極板と負極板の間にセパレータを介在させて渦巻状に巻回された渦巻状電極体を角形外装缶内に備えた非水電解質二次電池であって、

前記渦巻状電極体は加圧成形により扁平状電極体に成形されているとともに、

前記扁平状電極体内の前記正極板と前記負極板との間に介在する前記セパレータは、最も薄い部分の厚みが最も厚い部分の厚みに対して 70 % 以上で 95 % 以下になるように成形されていることを特徴とする非水電解質二次電池。

【請求項 2】

前記セパレータの空孔率は、40 % 以上 55 % 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の非水電解質二次電池。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の非水電解質二次電池において、

前記扁平状電極体の中心部に負極集電タブが配置されており、

前記負極集電タブの幅は、前記扁平状電極体における負極の巻始め端部から数えて第 1 の折り目から第 2 の折り目までの長さの 60 % 以上であることを特徴とする非水電解質二次電池。